

「テロ対策パートナーシップ和歌山」通信【第18号】

令和7年3月18日

テロ対策パートナーシップ
和歌山事務局

2025年に日本国際博覧会の開催が予定されています。

令和7年4月13日から10月13日までの184日間、大阪市夢洲において大阪・関西万博が開催されます。現在、舞洲において会場建設が進められているところ、世界各国から多くの来場者が見込まれており、また、テロの標的となりうる各国首脳等が来日する可能性があり警戒が必要です。

過去の国際的行事に関連したと思われるテロ被害を考えると、隣県である和歌山県においても、テロの可能性は否定できないことから重要施設や公共交通機関、商業施設等に対するテロの警戒は必要不可欠です。

「テロ対策パートナーシップ和歌山総会」の開催

令和6年11月26日（金）、和歌山城ホールにおいて、「テロ対策パートナーシップ和歌山総会」を開催しました。

同会では、テロ対策パートナーシップ和歌山の本会員である事業者様に参加していただき、警察による国際テロ情勢説明、日本マネジメント総合研究所合同会社理事長による「テロ対策で備えておきたいリアルとサイバーなあれこれ」と題した講演会及び県警察の取組紹介として、匿名・流動型犯罪抑止対策（SNS型投資・ロマンス詐欺等被害防止・「闇バイト」）を実施しました。



官民連携によるテロ対策訓練を実施

イオンモール和歌山における
NBCテロ対策訓練（令和6年9月10日）



J R 海南駅構内における
NBCテロ対策訓練（令和6年10月31日）



J R 橋本駅構内における
NBCテロ対策訓練（令和7年2月19日）



会員の皆様が実施されたテロ対策に関する活動状況をお寄せください。



テロ対策は、警察による取組のみでは十分ではなく、関係機関、民間事業者等と連携して推進することが望まれます。県警察では、不特定多数の者が集まる施設、イベント等において、制服警察官による巡回等の「見せる警戒」を実施するほか、施設管理者等に対して、職員や警備員による自主警備を働きかけています。

テロの未然防止に向けた警察の取組への御理解と御協力をお願いします。

テロ対策パートナーシップ 和歌山事務局
電話 073-423-0110
(内線 5821・5822)

ホームページは
こちらから ➡

